



# ふらり らいふらりい



～図書室にはこんな本があります～

No. 164

★利用者からの質問をもとに昭和館図書室の資料をご紹介します。  
(書名の後の( )の数字は請求記号です。)

問)「戦時中」の防寒対策についての記事が掲載されている雑誌が読みたい。

答) まず戦時中に発行された雑誌を出版年月から調べるで検索します。

出版年月 → 昭和 16年 12月 から 昭和 20年 8月 → 2661件

次に、検索結果一覧から、キーワードを「防寒」として、ことばで絞り込みます。

ことば → 防寒 → 41件

『主婦之友 第25巻第12号(昭和16年12月)』(051/Sh99/25-12 閉架)

『婦人画報 第455号(昭和17年1月)』(051/F64/455 閉架)

『服装文化 第6巻第10号(昭和18年10月)』(593/F84/6-10 閉架)

『婦人倶楽部 第25巻第1号(昭和19年1月)』(051/F64/25-1 閉架)

『主婦之友 第29巻第2号(昭和20年2月)』(051/Sh99/29-2 閉架)



戦時中の「婦人子供 防寒着の工夫と作り方」

▲空襲下では絶対に厚着をすることです。爆弾や焼夷弾の危険を防ぐだけでなく、萬一着たまま  
で罹災者になっても困らぬために、活動のできる範囲内で厚着をすることです

▲燃料不足の極寒時、生産に敢闘する工場内や夜間の待避壕内では特に風邪や冷込みに注意して  
ください。

▲今月はそのための防寒物や、厚着をしても衣類を損めぬやうに工夫した前掛けなどを発表しま  
した。手近な材料で簡単にできますから、炊事の合間や工場の晝休みにお作りください。

(主婦之友 第29巻第2号(昭和20年2月発行)より抜粋)

図書室には、書棚に並んでいる図書以外にもたくさんあります。  
検索端末を使って、読みたい本を探してみてください。  
操作方法等、カウンター職員までお気軽にお問い合わせください。

# 「日記」で見る「昭和」



新しい年になりました。今年の干支は甲午(きのえうま)。躍動の年にしたいものです。

「一年の計は元旦にあり」とはよく言われますが、日記帳やスケジュール帳、家計簿などを新しく使い始めるのも、今月から。昭和の著名人も、さまざまな日記を残しています。彼らの日記から、戦中～戦後の世相を見てみましょう。

## 【開架書棚からご自由にご覧いただけます】

- 伊藤整 『太平洋戦争日記』(915/I89/1～3)  
徳川無声 『無声戦争日記』(289/I64/1～6)  
山本周五郎 『山本周五郎戦中日記』(915/Y31)  
大佛次郎 『大佛次郎敗戦日記』(916/O74)  
山田風太郎 『戦中派不戦日記』(915/Y19)  
『戦中派焼跡日記』(915/Y19)

ドナルド・キーン著『日本人の戦争 作家の日記を読む』(開架 910/Ke18)は、永井荷風や高見順といった作家たちの日記を通し、真珠湾攻撃から連合軍占領下までの日本と日本人の姿を紹介しています。

開架書棚には、『入江相政(いりえ すけまさ)日記』(289/I64/1～6)、『芦田均(あしだ ひとし)日記』(312/A92/1～7)、『原敬(はら たかし)日記』(312/H31/1～6)といった政治家たちの日記も並んでいます。

先人たちの日記を読めば、「毎年、日記は三日坊主で終わってしまうなあ…」という方も、日々書き続けるコツを会得することができるかもしれません。

## —図書室から—

### 戦前～戦後の「お正月」と「雑まつり」

平成26年1月5日(日)～3月9日(日)まで、戦前～戦後の「お正月」と「雑まつり」をテーマとして、昭和館1階 資料公開コーナーにて雑誌の表紙など展示します。ぜひご覧ください。

ぶらりらいぶらりい ～図書室にはこんな本があります～ NO. 164

2014年1月20日 発行/編集・発行 昭和館 図書室 〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-1